

# 第124期 中間報告書

自 2023年4月1日 至 2023年9月30日

富士通株式会社

FUJITSU

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくなこと」をパーパスとして定めております。本パーパスのもと、2023年5月24日に新たな中期経営計画を発表し、パーパス実現に必要な不可欠な貢献分野であるマテリアリティを、地球環境問題の解決、デジタル社会の発展、人々のウェルビーイングの向上の3分野に決めました。これらの分野で、気候変動、情報セキュリティの確保、生活の質の向上に向けた医療ヘルスケアの推進など、重点的に取り組むべき11の課題を設定し、全社での取り組みを推進しております。そして、社会課題を起点とした当社の事業モデル「Fujitsu Uvance」を成長のドライバーとして、サービスソリューションを中心に全社の収益性拡大を目指し、2025年度の財務目標を、売上収益4兆2,000億円、調整後営業利益\*は5,000億円、調整後営業利益率12%と決めました。今後も、先端テクノロジーや多様な人材といった、当社の強みを十分に活用し、サステナブルな世界の実現と富士通グループの企業価値向上を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援賜りたく、何卒お願い申し上げます。

\*調整後営業利益：営業利益から事業再編、事業構造改革、M&A等に伴う損益ならびに制度変更等による一過性の損益を控除した、本業での実質的な利益を示す指標



代表取締役社長

崎田 隆仁

## 決算ハイライト

### > 2023年度中間期の連結決算概要 (単位：億円)

	2022年度中間期	2023年度中間期
売上収益	17,053	17,118
調整後営業利益	747	507
当期利益*1	719	378
フリー・キャッシュ・フロー	472	346
コア・フリー・キャッシュ・フロー*2	636	911

\*1 本報告書においては、親会社の所有者に帰属する当期利益を「当期利益」として表示しております。  
\*2 事業再編、事業構造改革、M&A等に伴う一過性の収支を控除した、経常的なフリー・キャッシュ・フロー

### > 2023年度の業績見通し (単位：億円)

	2022年度実績	2023年度予想
売上収益	37,137	38,100
調整後営業利益	3,208	3,200
当期利益*1	2,151	2,080
フリー・キャッシュ・フロー	1,775	1,600
コア・フリー・キャッシュ・フロー*2	1,571	2,150

## 2023年度中間期の業績

当中間期の売上収益は、ハードウェアソリューションおよびデバイスソリューションの減収があったものの、国内ビジネスを中心にサービスソリューションの売上が伸長したことにより、前年同期から65億円の増収となりました。

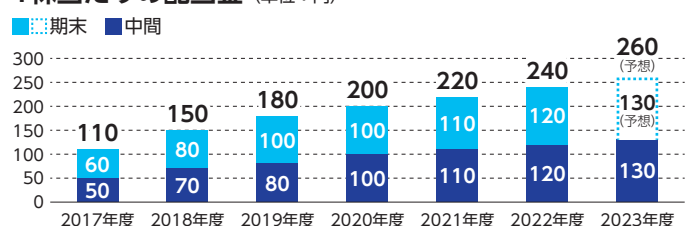
調整後営業利益は、サービスソリューションは増収効果に加え採算性改善も計画通り進捗し、前年同期比444億円の大幅増益であったものの、デバイスソリューションは前年の需要の反動の影響を大きく受け、全体としては、前年同期から240億円の減益となりました。当中間期の業績の詳細につきましては、p2「セグメント別の概況」もご参照ください。

## 株主還元

中間配当につきましては、計画通り前期中間配当から10円増配し、1株当たり130円といたします。

また、今年度については上限1,500億円の自己株式取得を実施する計画を2023年4月27日に公表しております。今後の株主還元につきましても、キャピタルアロケーションポリシーのもと、安定配当に加え、資本効率も意識した自己株式の取得を積極的に行い、総還元額を拡大していきます。

### 1株当たりの配当金 (単位：円)



\*2017年度から2018年度中間期までの配当金は、2018年10月1日に実施した株式併合の基準で換算した金額を記載しております。